

3 安心・安全な暮らしづくり

(6)有機フッ素化合物対策の推進

国への提案事項

1 米軍川上弾薬庫周辺住民の安心・安全のための取組の推進

- 川上弾薬庫に関して、泡消火薬剤の保有履歴や処分方法の公表、米軍による水質・土壌調査の実施と数値の公表、原因が弾薬庫内にあると考えられる場合の対応方針の公表など、必要な対応の実施及びその公表を米軍へ働き掛けること。

2 その他の住民の安心・安全のための取組の推進

- PFOS等の毒性、健康影響等に関する情報の提供と検出された地域における実態調査を実施すること。
- PFOS等の農作物等への影響評価と対策を検討すること。

3 PFOS等への対策実施に係る具体的方法の策定

- PFOS等の発生源特定調査・汚染除去等の対策に係る具体的な方法を提示すること。

4 PFOS等に係る自治体の各種取組に対する財政的支援

- 発生源特定のための広範囲の調査費や住民の井戸水から水道への切り替えに要する資金等、自治体の各種取組に対する財政措置を講じること。

【提案先省庁：農林水産省、国土交通省、環境省、防衛省】

3 安心・安全な暮らしづくり (6)有機フッ素化合物対策の推進

現状／広島県の取組

- 瀬野川流域にある飲用中の地下水から、高濃度のPFOS等が検出され、住民からその影響に関する不安や対策を求める声が上がっている。
- 地元自治体と連携して原因究明に向けて取り組んでおり、近傍の工場や川上弾薬庫に対し、情報提供や必要な対応を求めている。
- 暫定指針値を著しく超過している地下水について、生活用水として使用することについての不安の声があるが、知見がなく、説明に窮している。
- 地元自治体と連携して地域住民の健康不安に寄り添えるよう、健康相談等に取り組んでいるが、健康不安は解消されていない。
- 農作物に対する影響が明らかでないことから、市等に対して適切な助言ができない。
- 地元自治体が発生源特定のための広範囲の調査や住民の井戸水から水道への切り替えの資金面などでの支援をしている。

課 題

- 川上弾薬庫の情報等について、明らかになっていない部分があり、原因が特定できていない。
- 環境中からの除去等の方法が確立されておらず、対策に多大な費用を要する、又は、長期に渡って県民生活に影響が出る。
- 簡便な検査方法が確立されておらず、環境調査に多大な費用と時間を要する。
- 健康影響に関する科学的知見が集積されていない。
- 飲用利用以外の曝露防止についての基準がなく、農作物などに対する影響が明らかでない。
- 事案発生自治体においては、対応に想定外の費用が必要となっているにもかかわらず、財政的な支援がない。